特集

Z世代の水意識

1995年（平成7）は「インターネット元年」と呼ばれる。ここから私たちの生活は大きく変わっていくのだが、この時期以降に生まれた人口層が「ジェネレーションZ（Z世代）」だ。

Z世代は生まれたときからインターネット環境が身近で、デジタルデバイスを扱ってさまざまな情報を吸収する「デジタルネイティブ」とも呼ばれている。

環境問題に関心をもち、道徳意識も高く、堅実な経済観念をもつといわれるZ世代は「水」についてどう考えているのか――。旧世代とは異なる視野や価値観をもつとされるZ世代に「水」の切り口から着目し、これからの社会について模索したい。

目次

巻頭エッセイ

2 ひとしずく **未曾有の大震災の狭間で** 山岡義典

特集 Z世代の水意識

6 調査チーム座談会 **生活意識調査から探る「Z世代の水意識」とは?**

10 教育 **日本のあたりまえが通じない「水問題」と高校生たち** 宮城県仙台二華高等学校

14 研究 **伝統工法「三和土」を用いた世界中で使える集水工法** 青森県立名久井農業高等学校

17 水道水 **水道水を見直す活動に自ら飛び込んだZ世代** NGO水Do!ネットワーク

20 Z世代座談会 **「学びの場」をきっかけに抱いた水への興味――今、Z世代が感じていること**

26 教育 **「100年後の水を守る」ために、私たちが今すべきこと** 橋本淳司

29 総論 **「ローカル」「ソーシャル」「スロー」を希求する成熟社会の若者たち** 広井良典

32 文化をつくる **世代は違えど同じ時代を生きている** 編集部

Column

35 水の余話 **雪国は明るい** 小池俊雄

連載

36 水の文化書誌59 **プラスチック・ごみ問題を考える** 古賀邦雄

38 みず・ひと・まちの未来モデル2 **どうすれば水場を「憩いの場」にできるのか?** 野田岳仁

44 Go! Go! 109水系20 **古くから発達した国府の治水で「幸せます」佐波川** 坂本貴啓

50 センター活動報告

51 編集後記／ご案内

（敬称略）

Z世代 略年表

①水・自然・環境

西暦	和暦	
1995	平成7	1月 阪神・淡路大震災。戦後最大の惨事。関連死を含め6434人の命を奪った。その一方で市民ボランティアが活躍
		3月 水を活かしたまちづくりに優れた成果を上げている107地域を、「水の郷百選」として国土交通省が認定
		5月 長良川河口堰の本格運用開始。101年ぶり
		8月 東京で真夏日連続37日。1101年ぶり
1996		
1997	平成9	3月 第1回世界水フォーラムがモロッコ（マラケシュ）で開催
		4月 諫早湾干拓事業で潮受堤防閉鎖。有明海全体に及ぶ環境保全上の争点に
		5月 改正河川法成立。「河川管理の目的として「治水」に加え、「河川環境の整備と保全」を加え、地域の意見を聴いて河川整備計画を導入することに
1998		8月 矢作川河口堰建設事業審議委員会」において休止の答申（2000年11月に事業中止）
1999		1月 藤前干潟の埋め立てを名古屋市が断念（藤前干潟は2002年にラムサール条約に登録）
		6月 飛鳥京跡苑池遺構を発掘。池のなかには噴水施設や中島が築かれ、水位を調節するための木樋や水路がついた流水施設
2000		3月 第2回世界水フォーラムがオランダ（ハーグ）で開催
		8月 中海干拓事業中止を決定（2002年には淡水化の中止も決定）
		9月 国連ミレニアム宣言をもとに「ミレニアム開発目標（MDGs）」がまとめられた。「2015年までに、安全な飲料水を利用できない人々、適切な衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する」など目標設定。
2001		9月 田中康夫長野県知事がダム建設中止を表明（脱ダム宣言）
		12月 堂本知事が二番瀬1101haの埋め立ては行なわない」と明言。計画は白紙撤回（第二東京湾岸道路の計画は残っている）
2002		12月 第9回世界湖沼会議が日本（琵琶湖畔）で開催
		12月 環境省が「日本の重要湿地500」を選定。
2003		1月 過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的とした自然再生推進法が施行
		3月 第3回世界水フォーラムが日本（京都、滋賀、大阪）で開催
		10月 日本産のトキが絶滅（新潟県佐渡島）「水に関するG8行動計画」などがまとめられた
2004		3月 国連は2005－2015年を「命のための水」国際行動の10年」とする
		5月 特定外来生物被害防止法が成立
		9月 太平洋の黒潮（日本海流）の大蛇行が13年ぶりに現れ、漁業に異変生じる
2005		2月 京都議定書発効
		6月 「奪エネルック」に代わり「クールビズ」がスタート。中央省庁や地方自治体が軽装を採用。2006年以降は民間企業も導入
		夏 平成18年7月豪雨により、早朝ダムの貯水量は減少。春先から四国では利水に支障が出た。九州では26人が死亡。行方不明者は2人。
		8月 平成19年8月19日午後から翌日午前にかけて、台風14号による大雨で貯水率が100%に。利根川復旧
2006		3月 第4回世界水フォーラムがメキシコ（メキシコシティ）で開催
2007		4月 「運河の魅力再発見プロジェクト」に8件認定（貞山運河、横浜内港地区、富岩運河、住友運河、半田運河、咲洲キャナル、尼崎運河、堀川運河）。朝潮運河、横浜
		12月 第1回アジア・太平洋水サミットが日本（大分県別府市）で開催
2008		6月 環境省が「平成の名水百選」を発表
		9月 トキの生息地を佐渡で試験放鳥
		・神戸と東京でゲリラ豪雨による死者発生
2009		8月 世界ジオパークに洞爺湖・有珠山、糸魚川・フォッサマグナ、島原半島が選定
		9月 鳩山由紀夫内閣発足。前原誠司国土交通相、八ッ場ダム建設中止を表明
		11月 「安全・安心でおいしい地下水サミット」が東京で初開催
		荒瀬ダムを2012年から撤去することを蒲島知事が表明
		12月 ・生物多様性条約COP10名古屋議定書採択（遺伝資源の利用と利益配分）
		・13年間でもっとも暑い夏。6月、8月の日本の平均気温が1898年以降でもっとも高くなる
2010		7月 ハイチの地震。死者22万人以上
		7月 梅雨前線による大雨で死者17人、行方不明者5人
2011		3月 東日本大震災。3.11巨津波が東北・関東を襲う。死者・行方不明者18,500人
		4月 長野県北部地震が発生。M6.7、最大震度6強を観測（栄村）
		7月 東京都23区で7月新潟・福島豪雨。1時間100㎜前後の猛烈な雨がほぼ同じ場所で続けて10羽を佐渡で試験放鳥
		9月 平成23年7月新潟・福島豪雨による死者発生
		12月 政府・民主党三役会議で八ッ場ダムの建設再開を決定
		・国交省が営業活動を行なう事業者も川敷地の利用が可能となるよう、河川敷地占用許可準則を改正
2012		4月 立山連峰で日本初の氷河を認定
		5月 宇宙航空研究開発機構（JAXA）が水循環変動観測衛星「しずく（GCOM-W1）」を打ち上げる
		10月 地球温暖化対策税（環境税）導入
2013		8月 第2回アジア・太平洋水サミットがインドネシア（チェンマイ）で開催
		8月 経産省「福島第一原発から汚染水が1日当たり300トン流出と推計
		11月 日本政府が温室効果ガスの排出量を2020年度までに2005年度比3・8%減とする新目標を発表
		日本政府が2018年度をめどに米の生産調整（減反）を廃止することを決定。1970年から始まった減反政策が終了へ
2014		6月 国際自然保護連合によるレッドリストの絶滅危惧種にニホンウナギが指定された。また11月には太平洋クロマグロも絶滅危惧種に指定された
		・新しい水辺活用の可能性を切り開く民と一体の協働プロジェクト「ミズベリング」がスタート／国際かんがい排水委員会が歴史的な灌漑施設を「世界かんがい施設遺産」として認定・登録
2015		4月 第7回世界水フォーラムが韓国（大邱）で開催
		9月 ニューヨーク国連本部で開催された脳会合において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、「持続可能な開発目標（SDGs）」が定められた
		12月 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）は、地球温暖化対策の新たな国際的枠組み「パリ協定」を採択
2016		6月 佐渡で野生の親同士から生まれたトキのひなが2羽巣立ったと環境省が発表。42年ぶりのこと
		11月 ・国交省が「かわまちづくり」支援制度を改定
		・地球温暖化対策の国際的枠組みのこと。パリ協定発効
		・「かわまちづくり」の計画作成に民間事業者が参画できるように
2017		12月 第3回アジア・太平洋水サミットがミャンマー（ヤンゴン）で開催
		12月 宇宙航空研究開発機構（JAXA）が気候変動観測衛星「しきさい（GCOM-C1）」を打ち上げる
2018		3月 第8回世界水フォーラムがブラジル（ブラジリア）で開催
		12月 荒瀬ダムの撤去工事が完了。可能に
		荒故法成立。民営化が
		日本政府、国際捕鯨委員会（IWC）からの脱退を発表
29		
30		
2019	令和元	7月 第11回「水道技術国際シンポジウム」がパシフィコ横浜で開催。テーマは「水道サービスとその将来―信頼、持続、そして、スマート―」。34の国と地域から6468人（展示会来場者は延べ3500人）が参加
		8月 令和元年8月の前線に伴う大雨、九州北部で発生した九州豪雨
		9月 台風1915号による強風の影響で千葉県中心に最大93万軒が停電
		10月 台風19号上陸。東北地方や関東地方を中心に71河川140カ所で堤防が決壊。浸水や土砂崩れなどで死者99人、行方不明者3名
2020		1月 千葉県市原市にある約77万4000㎡前～12万9000㎡前の地質時代が「チバニアン（千葉時代）」と正式に命名
2021		3月 国連大学サステイナビリティ高等研究所「持続可能な開発のための水（WSD）」プロジェクトが、ウェブ上で「SDG時代の水の価値」を開催
		4月 福島第一「原発の処理水、海洋放出を政府が決定。地元の漁業団体に加え、中国や韓国などがこの計画に反対

グラフ 世帯のインターネットとスマートフォン普及率の推移

インターネット普及率（世帯）

スマートフォン普及率（世帯）

出典：総務省「令和2年 通信利用動向調査報告書（世帯編）」

②自然災害／水関連の事件・事故

西暦	和暦	
1995	平成7	5月～6月 埼玉県越生町で水道起因による原虫クリプトスポリジウムによる集団感染が発生。町の71・4%、8812人が罹患。戦後最大の大腸所堺市で0157による発生者、3人死亡。推定患者数は9553人
		7月 長良川河口堰の本格運用開始。101年ぶり
		8月 東京で真夏日連続37日。1101年ぶり
1996		1月 島根県沖の日本海で、ポーランド籍の貨物船が発生。乗組員は、ウクライナ人、ロシア人、ポーランド人の19人